

白岡市議会議員

渡辺そういちろう

市政通信 Vol. 9



今年、白岡で始まる新しいコト。

3月議会で本年度の予算が議決しました。

白岡としては過去最大の 150 億円。特に**予算額が大きいものは新図書館の建設費**です。また新たな予算の中で注目は**白岡中学校周辺の土地利用**です。白中周辺は都市的な土地利用への転換に向けて地権者を交えた協議が進んでいます。渡辺の一般質問では**市政の見える化の推進**と**圏央道を活かした地域活性化**について取り上げました。



2017年の主な新事業

教育・子育て

新図書館の建設が本格化
18歳までの子ども医療費無料化
新たな保育所・学童保育を整備



Q 待機児童は解消されるの？

A 90名収容の新保育所が
2018年にオープンするが、
待機児童の完全解消は難しい。

新図書館の建設等ハード事業が増加。ハコモノの維持管理に注視していきます！

医療・福祉

健康マイレージ制度を実施
「食育」による健康づくりを推進
介護予防の総合支援事業を開始



Q 健康マイレージってなに？

A 希望者に万歩計を渡し、
ポイント制の健康づくりに参加してもらう取り組み。



都市整備・産業

白岡中学校周辺の新たな土地利用を検討
新白岡駅西口に公衆トイレを新設
梨栽培の農機具の導入費を補助



Q 白中周辺はどんな事が検討されてる？

A 商業施設の誘致など賑わいを創出するための土地利用が検討されている。

白岡も道路や橋などの老朽化が進んでいます。効果的な管理体制と財源確保が急務です！

市民サービス

市制5周年記念の行事を開催
住宅や店舗のリフォーム費を補助
地域活動キックオフ事業を開始



Q 地域活動キックオフ事業とは？

A シニアや女性が地域活動に参加する事を後押しする入門講座を開く。

渡辺の一般質問

「市政の見える化」の推進を！



Question

白岡市も行政評価を導入し、**まちづくり**を客観的に評価するとともに、その評価結果を公開してはどうか？

Answer

行政評価を導入する。業務の効率化と市民への説明責任を果たしていきたい。



市役所

※行政評価とは行政の仕事を成果や効率という観点から評価し、業務の改善につなげていく「行政経営」の仕組み。



市のホームページの発信力強化を！



Question

ホームページの運営が各課で縦割りになっており**利用者目線の発信**になっていない。全体をマネジメントする視点が必要では。またスマホ対応は。

Answer

現在は各課で情報発信を行っているが、情報によっては探しづらいものがあると認識している。今後は課を超えた発信の取り組みに努める。スマホ対応は検討する。



市役所

圏央道を活かした地域活性化を！



Question

圏央道の成田空港方面の開通で企業誘致の期待が高まる。雇用を生みやすい製造業や地元産業と連携できる食品加工企業等**ターゲットを定めた戦略**が必要では。

Answer

関西の企業からも問い合わせを頂く等、圏央道開通の影響から多くの企業に注目されている。市の発展のために積極的に取り組んでいく。



市役所

活動の風景



白岡八幡神社や国際交流会など各地区でバイオリンを演奏！

安全環境のチェック

地元の方々、市、警察と連携し、地域の安全環境のチェックと整備を進めています。「安全性」と「公共性」の高いものから優先順位を付けて取り組んでいます。まずはご相談ください。右はカーブミラーと一時停止を設置しました。



【渡辺そういちろうPROFILE】

衆議院議員平沢勝栄の公設秘書として政治活動に参加後、2015 年春より白岡市議会議員として活動。総務常任委員会所属。にて是非ご検索ください！

☎ 090-7197-6173 💻 <http://www.so-wat.net>

ブログも鋭意更新しています！

最後までお読み頂きありがとうございました！ここに載せきれなかった詳細は渡辺ホームページのブログに掲載しています。よろしければ是非ご覧ください！

TO BE CONTINUED . . .